

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社ラック 上場取引所 大
 コード番号 3857 URL http://www.lac.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高梨 輝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 伊藤 信博 TEL 03-6757-0100
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,828	△2.6	△12	—	△51	—	△27	—
24年3月期第1四半期	7,009	△1.2	107	—	50	—	△44	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △52百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△2.03	—
24年3月期第1四半期	△2.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	19,344	5,248	27.0	206.08
24年3月期	19,399	6,509	33.5	214.74

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,229百万円 24年3月期 6,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,400	1.9	485	△18.4	355	△27.4	150	4.6	4.98
通期	35,000	10.8	1,990	5.0	1,740	4.0	870	31.7	33.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

1株当たり当期純利益の金額は、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想において3円98銭（第2四半期累計）、30円42銭（通期）としておりましたが、平成24年6月27日付でA種優先株式全株を消却したことにより、それぞれ4円98銭、33円35銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 ー社 （社名）ー、除外 3社 （社名）

（旧）株式会社ラック、エー・アンド・アイ システム株式会社、株式会社アイティークルー

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	26,683,120株	24年3月期	26,683,120株
25年3月期1Q	1,304,720株	24年3月期	1,304,760株
25年3月期1Q	25,378,372株	24年3月期1Q	25,257,168株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
(4) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(5) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、長期化する株安や円高に加え、欧州諸国の信用不安問題や中国をはじめとした新興国の景気減速懸念など、景気を下押しするリスクが内在する不透明な状況で推移しました。

当社の属する情報サービス業界では、情報セキュリティ対策分野への投資はその重要性が改めて認識され底固く推移するとともに、金融分野のシステム化投資も復調傾向にあります。しかしながら案件の小型化や提供サービス価格の低減要請が見られるなど、企業のIT投資は引き続き慎重な姿勢で推移しました。

このような状況のなか、当社は、本年4月に完全子会社3社を吸収合併し、商号を株式会社ラックと変更して新たにスタートいたしました。この準備段階から掲げてきた「強い会社 創成」を引き続きのテーマとして、一元化した顧客基盤への営業展開、提供するサービスの選択と集中、ワンストップソリューションの提案、要員の適正配置、グローバル展開の推進、A種優先株式の取得および消却による株主価値の向上など、経営基盤の強化と業容拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、セキュリティソリューションサービス事業では増加したものの、ディーラー事業ではほぼ横ばい、またシステムインテグレーションサービス事業では仕掛の増加により減少したため、68億28百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。利益面では、引き続き経費低減に努め販売費及び一般管理費はほぼ前年同四半期並みとなりましたが、売上の減少に加えディーラー事業での仕入れ条件の悪化もあり、売上総利益が1億23百万円減少したため、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業利益1億7百万円）、経常損失は51百万円（前年同四半期は経常利益50百万円）、四半期純損失は負ののれん発生益59百万円の計上により27百万円（前年同四半期は四半期純損失44百万円）となりました。

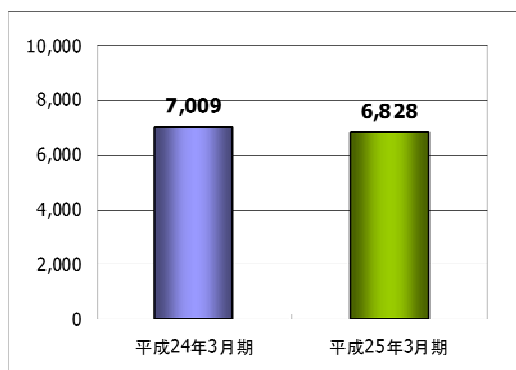
当第1四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

(単位：百万円)

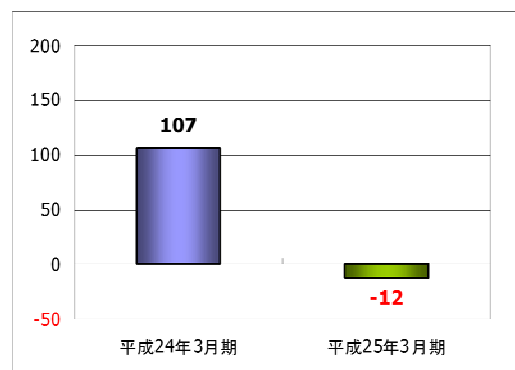
	前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	7,009	6,828	△181	△2.6
売上原価	5,571	5,513	△58	△1.0
売上総利益	1,438	1,314	△123	△8.6
販売費及び一般管理費	1,331	1,327	△3	△0.3
営業利益	107	△12	△119	－
経常利益	50	△51	△101	－
四半期純利益	△44	△27	16	－
EBITDA	407	233	△174	△42.8

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

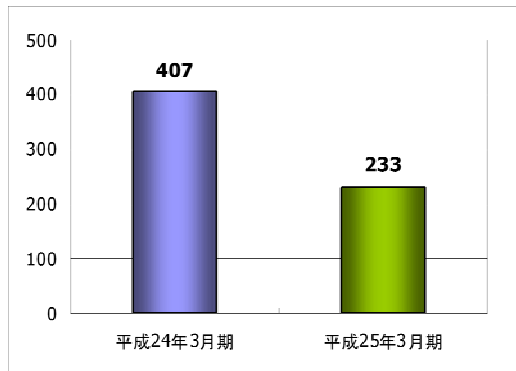
[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]

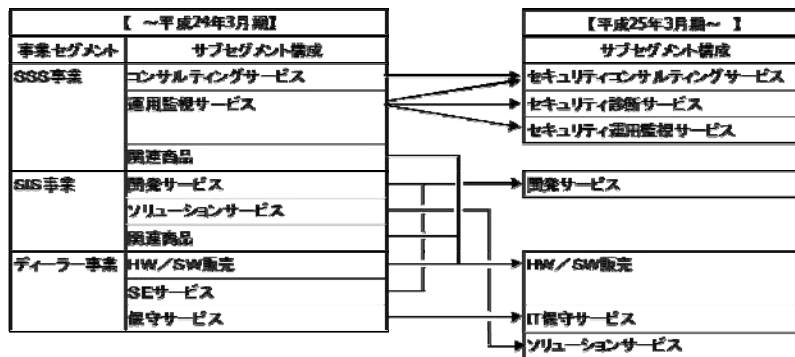


[連結EBITDAの前年同四半期比 単位:百万円]



セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、本年4月の子会社吸収合併とそれに伴う組織変更に併せて各事業セグメントの構成を以下のとおり見直しております。前年同四半期の実績についてもこれに合わせた集計値を記載しております。

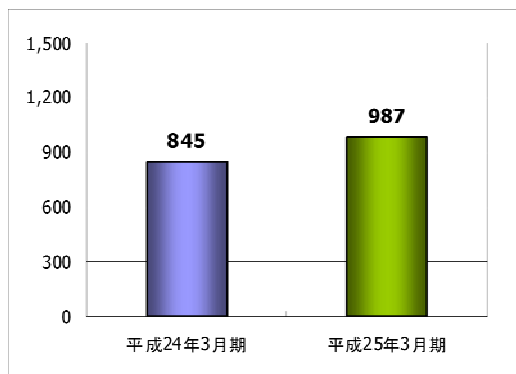


セキュリティソリューションサービス事業（ＳＳＳ事業）

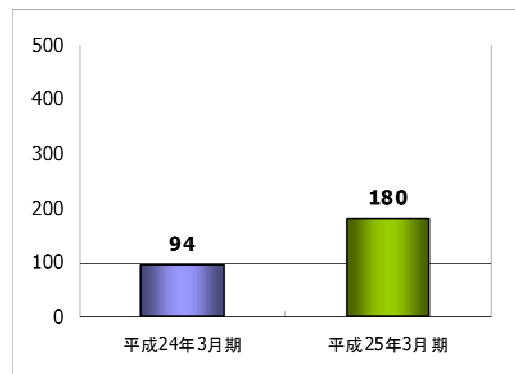
（単位：百万円）

		前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	前年同四半期比	
				増減額	増減率 (%)
	セキュリティ コンサルティングサービス	264	379	114	43.2
	セキュリティ 診断サービス	140	155	15	11.0
	セキュリティ 運用監視サービス	440	451	11	2.6
売上高		845	987	141	16.7
セグメント利益		94	180	85	90.0

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



セキュリティコンサルティングサービスは、標的型メールによるサイバー攻撃などセキュリティ事故が後を絶たないなか、緊急対応サービスや金融機関向けセキュリティ対策支援などの受注が増加し、売上高は3億79百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

セキュリティ診断サービスは、過去にサービスを提供した顧客からのリピート案件や新規案件などの受注が堅調に推移し、売上高は1億55百万円（同11.0%増）となりました。

セキュリティ運用監視サービスは、顧客のネットワーク構成変更などに伴う監視センサー数の減少が一部にあったものの、外部からの侵入防御だけでなく、不正侵入を想定したいわゆる出口対策への意識の高まりなどから新規受注が堅調に推移し、売上高は4億51百万円（同2.6%増）となりました。

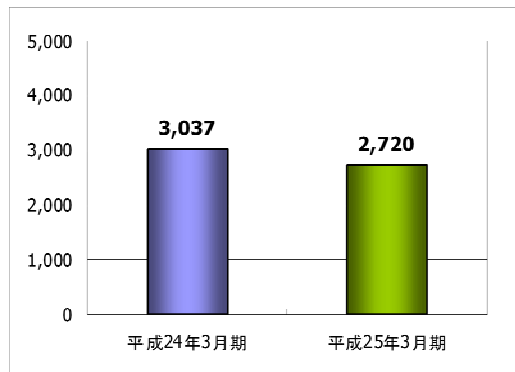
この結果、ＳＳＳ事業の売上高は9億87百万円（同16.7%増）、セグメント利益は1億80百万円（同90.0%増）となりました。

システムインテグレーションサービス事業（S I S事業）

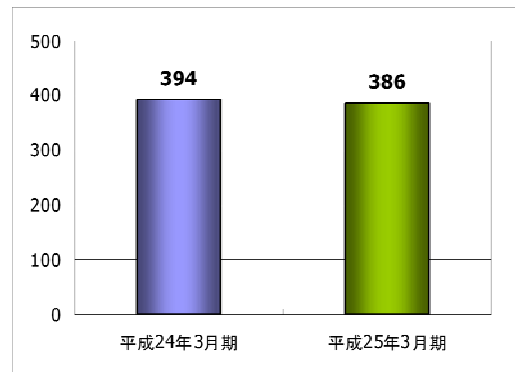
（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （平成23年4月1日～ 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （平成24年4月1日～ 平成24年6月30日）	前年同四半期比	
			増減額	増減率 （%）
開発サービス	3,037	2,720	△316	△10.4
売上高	3,037	2,720	△316	△10.4
セグメント利益	394	386	△7	△1.9

〔売上高の前年同四半期比 単位：百万円〕



〔セグメント利益の前年同四半期比 単位：百万円〕



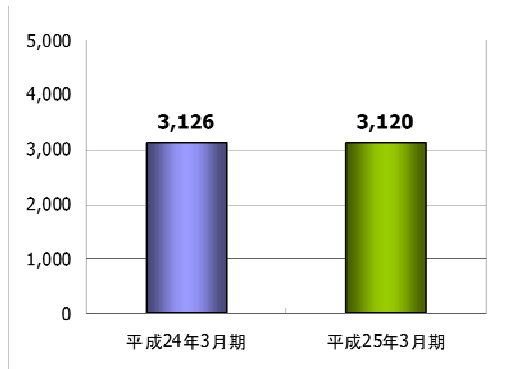
開発サービスは、金融機関向けなど基盤系案件の受注が好調に推移したものの、製造業向けなど業務系アプリケーション開発案件の受注が減少したこと、第2四半期以降に計上予定の仕掛が増加したことなどにより、S I S事業の売上高は27億20百万円（前年同四半期比10.4%減）、セグメント利益は3億86百万円（同1.9%減）となりました。

ディーラー事業

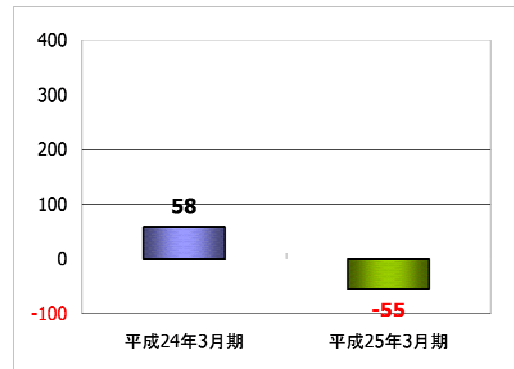
(単位：百万円)

		前第1四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	前年同四半期比	
				増減額	増減比 (%)
	HW／SW販売	1,474	1,332	△141	△9.6
	I T保守サービス	1,526	1,650	123	8.1
	ソリューションサービス	125	137	12	9.7
売上高		3,126	3,120	△5	△0.2
セグメント利益		58	△55	△113	－

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW／SW販売は、競争が一段と激化するなか、クラウドの活用や最適なシステム構築の要請などから案件の減少や小型化が進み、売上高は13億32百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

I T保守サービスは、価格の低減要請があったものの、本年4月に買収した子会社のネットワーク構築関連の保守売上が寄与し、売上高は16億50百万円（同8.1%増）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向けシステム更新案件の受注が順調に推移し、売上高は1億37百万円（同9.7%増）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は31億20百万円（同0.2%減）とほぼ前年同四半期並みとなりましたが、仕入れ条件の悪化などにより、セグメント損失は55百万円（前年同四半期はセグメント利益58百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、193億44百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3億8百万円、受取手形及び売掛金の減少10億80百万円、前払費用の増加12億27百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加し、140億95百万円となりました。これは主に買掛金の減少4億5百万円、短期借入金の増加12億85百万円、未払法人税等の減少2億75百万円、前受収益の増加9億25百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少3億27百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億60百万円減少し、52億48百万円となりました。これは主に優先株式の取得及び消却などによる資本剰余金の減少10億23百万円、期末配当などによる利益剰余金の減少2億19百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は27.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

長期的な円高や欧州諸国の信用不安など、景気を下押しするリスクが内在しておりますが、震災の影響があった前期に比べI T投資は回復基調にあるなか、当第1四半期の実績と今後の見通しを勘案し、平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想および通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年4月1日付けで、（旧）株式会社ラック、エー・アンド・アイ システム株式会社及び株式会社アイティークルーの3社を吸収合併し、商号を「株式会社ラック」に変更いたしました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更）

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社のグループにおける重要性が増したことにより、当第1四半期連結会計期間より原則的な方法である期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更が、当第1四半期連結累計期間の売上高、売上総利益、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,003,362	2,694,699
受取手形及び売掛金	4,854,151	3,773,472
商品	134,033	235,555
仕掛品	168,481	331,620
貯蔵品	2,182	2,688
前払費用	2,066,010	3,293,908
その他	599,675	662,931
貸倒引当金	△2,431	△2,101
流動資産合計	10,825,466	10,992,775
固定資産		
有形固定資産	1,169,499	1,133,557
無形固定資産		
のれん	2,906,079	2,793,471
その他	1,598,523	1,657,737
無形固定資産合計	4,504,603	4,451,208
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,619,789	1,506,971
その他	1,280,440	1,260,091
投資その他の資産合計	2,900,229	2,767,062
固定資産合計	8,574,332	8,351,828
資産合計	19,399,798	19,344,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,053,426	1,647,712
短期借入金	514,599	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,655,000	1,664,996
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	301,603	25,874
前受収益	2,092,487	3,017,969
賞与引当金	69,910	37,371
受注損失引当金	6,465	35,863
その他	1,453,315	1,500,461
流動負債合計	8,246,807	9,830,247
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	4,154,000	3,816,928
退職給付引当金	57,871	63,049
負ののれん	2,748	2,198
その他	279,008	233,249
固定負債合計	4,643,628	4,265,425
負債合計	12,890,436	14,095,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	4,646,472	3,622,849
利益剰余金	1,236,787	1,017,222
自己株式	△331,592	△331,582
株主資本合計	6,551,667	5,308,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,914	△56,714
為替換算調整勘定	△16,005	△21,804
その他の包括利益累計額合計	△52,919	△78,519
少数株主持分	10,615	18,959
純資産合計	6,509,362	5,248,930
負債純資産合計	19,399,798	19,344,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	7,009,572	6,828,122
売上原価	5,571,327	5,513,296
売上総利益	1,438,245	1,314,825
販売費及び一般管理費	1,331,128	1,327,522
営業利益又は営業損失(△)	107,116	△12,697
営業外収益		
受取利息	37	62
受取配当金	604	685
負ののれん償却額	549	549
保険解約返戻金	1,591	6,873
その他	2,388	2,343
営業外収益合計	5,172	10,514
営業外費用		
支払利息	33,711	25,281
支払手数料	26,511	20,481
その他	2,010	3,274
営業外費用合計	62,233	49,038
経常利益又は経常損失(△)	50,055	△51,221
特別利益		
負ののれん発生益	—	59,478
特別利益合計	—	59,478
特別損失		
固定資産除却損	751	1,260
特別退職金	3,477	—
リース解約損	—	387
特別損失合計	4,229	1,647
税金等調整前四半期純利益	45,825	6,609
法人税、住民税及び事業税	8,634	6,972
法人税等調整額	82,261	26,342
法人税等合計	90,896	33,314
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△45,070	△26,704
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△713	1,105
四半期純損失(△)	△44,357	△27,810

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△45,070	△26,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,208	△19,800
繰延ヘッジ損益	2,111	—
為替換算調整勘定	49	△6,338
その他の包括利益合計	3,369	△26,138
四半期包括利益	△41,701	△52,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,952	△53,410
少数株主に係る四半期包括利益	△748	566

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月27日付で、A種優先株式5株を取得し、同日付で消却いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間においてその他資本剰余金が1,023,627千円減少しております。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティソー リューションサ ービス事業	システムイ ンテグレー ションサー ビス事業	ディーラー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	845,605	3,037,275	3,126,344	7,009,224	348	7,009,572	—	7,009,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,645	90,684	6,855	100,185	—	100,185	△100,185	—
計	848,250	3,127,959	3,133,199	7,109,409	348	7,109,757	△100,185	7,009,572
セグメント利益	94,873	394,028	58,686	547,588	348	547,936	△440,820	107,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の非連結子会社に対する業務受託収入等であります。

2. セグメント利益の調整額△440,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	987,000	2,720,600	3,120,521	6,828,122	—	6,828,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	987,000	2,720,600	3,120,521	6,828,122	—	6,828,122
セグメント利益又は損失(△)	180,293	386,513	△55,176	511,630	△524,327	△12,697

(注) 1. セグメント損失の調整額△524,327千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日付の子会社吸収合併とそれに伴う組織変更に伴って各報告セグメントの構成の見直しを行っております。

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメント及び「システムインテグレーションサービス事業」セグメントの一部を「ディーラー事業」セグメントに変更しております。また、「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「ディーラー事業」セグメントにおいて、アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の株式を取得したことにより、負ののれん発生益が生じております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては59,478千円であります。